

14.5-29

調査報告第九十四號 (昭和十年一月二十五日)

天津を中心としたる支那及滿洲國羊毛に就て

横濱正金銀行頭取席調査課



始



同 銀行 寄贈本

序

世界大戦中英國を初め其他諸國の輸出管理政策の爲め濠洲南亞竝に各地の羊毛は輸出を禁止され、本邦への輸入不可能に陥りし際我需要を充さん爲め品質不良なれども之が供給を支那羊毛に仰ぎ其の輸入額は激増して一千數百萬斤に達し、戦後再び濠洲南米の羊毛が輸入可能となるに及び支那羊毛は漸時年と共に蔭を薄くし昭和五年度には本邦へ僅に二百七十萬斤の輸入を見、其後は天津其の他に突發せし事變の影響も加はり終に支那羊毛の本邦への輸入は殆ど皆無に等しく、昔日の面影を止めぬ有様である。

然れども大戦中に苦き經驗を嘗めたる一部識者の中には、遠き將來を慮りて隣邦支那及滿洲國の羊毛に漸く關心を有するに至りつつあるも、本邦當路者が尙積極的に之に着眼し羊種の改良、優良羊毛の採取等々を計りて其の成績を擧げしめ、隣邦をして其の利益を享有せしむると共に我が永遠の羊毛政策を確立せしめんことを期すべきであらう。

本稿は大體滿支羊毛が如何なるものであるかを行務の餘暇調べたに過ぎず、材料乏しき上に菲才の事として誠に粗雑な調査にすぎぬが他日各位の御叱正を乞ふて修補したいと希つてゐる次第である。

昭和九年六月

天津支店 安 藤 茂



參照書類

The Trade of China. Published by order of the Inspector General of Customs.
 Foreign Trade of China. ———
 Monthly Returns of the Foreign Trade of Tientsin. Published by permission of the Tientsin Customs, Chung Wai Press.
 天津貿易年報 天津日本商業會議所
 東洋貿易研究 大阪市役所産業部
 陸軍經理部稿支那羊毛調査資料
 支那の工業と原料 上海日本人實業協會
 天津日本商業會議所參考資料
 支那の羊毛 澤村鈞佐支那經濟社
 支那羊毛 南滿鐵道株式會社調査部
 天津茂記洋行調査資料及同店紀田氏に付聽取
 晉信洋行に付聽取
 其他

14.5-29

天津を中心としたる支那及滿洲國羊毛に就て

目次

第一章 緒言……………一頁

第一節 主要産地別年産額……………二

第二節 滿支に於ける羊の頭數……………三

○第二章 羊毛輸出港としての天津……………四

第一節 天津に於ける主なる羊毛輸出商……………五

第二節 出廻状態及數量……………六

第三節 集散経路と運輸……………八

第四節 奥地に於ける運輸機關……………九

第五節 主なる集散市場……………一〇

第三章 原産地に於ける羊毛取引事情……………一一

第一節 出撥子 一一
 第二節 幹毡的 一二
 第三節 毛販子 一三

第四章 地方集散市場に於ける羊毛取引事情 一四

第一節 外 莊 一四
 第二節 歇 家 一四
 第三節 毛販子 一四
 第四節 經 記 一五
 第五節 毛 棧 一五
 第六節 取引方法 一五
 第七節 代金の決済 一六

第五章 天津に於ける羊毛取引事情 一六

第一節 取引法及商慣習 二一
 第一項 見本の提示 二一

第二項 受 渡 二二

第三項 代金の決済 二二

第二節 相 場 二三

第六章 支那及滿洲國の羊 二五

第一節 羊種改良 二五

第二節 羊毛の種類 二七

第三節 羊毛の構造並に滿支羊毛の品質 三二

第一項 鱗狀部 三二

第二項 隋圓形細胞部 三三

第三項 小纖維部 三三

第四節 滿支羊毛の特質 三三

第五節 滿支羊毛の鑑定 三九

第六節 滿支羊毛の欠點 四一

第七章 世界羊毛産額と滿支羊毛 四三

第八章	滿支羊毛と米國	四四
第九章	本邦毛織物工業	四五
第一節	本邦と滿支羊毛	四七
第十章	輸出に對する施設	五〇
第一節	輸出諸掛	五四
第十一章	結語	五七

天津を中心としたる支那及滿洲國羊毛に就て

第一章 緒言

支那及滿洲國に於ける羊毛の産地は滿洲、内外蒙古、新疆、青海、甘肅及黃河流域の諸省並に西藏及之に接壤する川邊を主とし、其の他長江流域及南方諸省にも多少の産あるも見るべきものなし。

年産額は計約六十萬擔(約六千萬斤)内約四割を兩國內にて消費し、殘餘約六割即ち約三十六萬擔(約三千六百萬斤)を輸出す。

凡支那及滿洲國の羊は數千年來肉用と毛皮用に飼育され羊毛採取を目的とせざりし爲め、一頭當りの採毛量は極めて僅少ななるのみならず、品質粗惡にして死毛粗毛多く且多量の夾雜物を含み唯カーペットウールとして世界的に存在を認めらるゝのみである。而して在來の羊に他の優良種を交配して雜種を作れば品質佳良なる羊毛を生産し毛量を増加するに至ることは、山西省模範牧場並に滿洲國公主嶺農事試驗場等に於て既に實證せられたる處にして、斯くの如き羊種の改良は以て邊域の住民の向上に資し又兩國を利する處甚大なるものがあらう。

扱て我羊毛工業界を見るに、年々顯著なる進歩を爲し消費量も累年増加して一億圓を算するに及ぶ

も隣邦の羊毛資源を顧みず概ね外人の跋扈に委ね置き濠洲南米にのみ原料を仰ぎ居る状態で、曩に大戦中英國政府の羊毛管理により我が斯業は至大なる脅威を感ぜし貴き経験を忘れたが如く推移しつつあるも、最近識者の中には大戦中の経験を痛感して支那羊毛の研究に意を注いで居るものもある。最近當地へ視察に來た本邦に於ける斯界の有力なる Export の談に依れば、從來 Carpet 用としてのみ知られたる支那羊毛が最近實地研究の結果服地としても適當のもの有ることを知らるゝに至り今後充分研究の價値ありとの事である。

第一節 主要產地別年産額

前述の年産額を主要產地別に示せば

地方別	産額	百分比
滿洲 (滿洲國)	一六千擔	二・七
呼倫貝爾 (々々)	一五	二・五
東部内蒙古 (々々)	四六	七・六
外蒙 古	一一四	一九・一
内蒙 古	五七	九・五
青海	七二	一二・〇
新疆、甘肅、陝西	一、六〇	二六・六
河北、山東、山西	五五	九・二

其 他	六五	一〇・八
計	六〇〇	一〇〇・〇

第二節 滿支に於ける羊の頭數

正確なる數字を得ることは極めて難事にして過去數年間の海關統計に現はれたる羊毛輸出數量を基礎とし、鐵道輸送統計並に營業者に付き調査したる出廻状態に依り推算されたるものは大要左の通りである。

滿洲 (滿洲國)	一、〇七〇千頭	呼倫貝爾 (滿洲國)	一、〇〇〇
東部内蒙古 (々々)	三、〇五〇	外蒙 古	七、六〇〇
内蒙 古	三、九三三	新 疆	四、三〇〇
青海	四、七六六	甘 肅	五、三六〇
陝西	一、〇〇〇	山 西	一、七〇〇
河北	一、〇八八	山 東	九〇〇
河南	一、〇〇〇	其 他	四、〇〇〇
合 計	四〇、七六七千頭		

右の如く滿支兩國に於ける羊の頭數は約四千萬頭、其内蒙古其他遊牧地帯に飼育せらるゝものは二千四百萬頭にて過半を占め、殘餘が支那本部其他の農耕地帯に於て飼育せらる。又氣候寒冷にて地味

瘠せたる北部及び西部地方に於て八割を占め比較的氣候溫暖に屬する黄河下流地方には僅に一割餘である。

又 China Year Book に依りて見るに最大約四千五百萬頭、Annual Wool Review (National Association of Wool Manufacturer) に依れば四千五百萬頭である。

飼羊管理の粗放、非衛生なる爲めの罹病或は地方に依り冬期の寒氣殊に烈しく積雪多く饑餓と寒氣の爲め斃死率は甚だ高く、又毛皮を取るために屠殺することも少くない。其の他牡羊は種羊を残して他は生後二、三ヶ月中に去勢し生後一ヶ年頃には肉用として屠殺する。牝羊は六七年頃迄は繁殖用にして其後は之を食用として屠殺する。要するに滿支に於ける羊の飼養頭數の増加は種々の原因に依りて阻害せらるゝことあり、時には天災等に見舞はれて不測の減少を見ることありて年々の増加率を知ることは至難とされて居るが、永年に互りて之を見る時は大なる増減なしと言ひて差支なき状態との事である。

第二章 羊毛輸出港としての天津

天津は背後に内外蒙古、山西、陝西、甘肅、青海等の羊毛産地を控へ支那最大の羊毛輸出港にして

Exported to	1927	
	picul	\$
Austria	—	—
Canada	—	—
Hongkong	17	928
French Indo-China	—	—
Singapore, Straits etc.,	—	—
British India	1	69
Turkey, Persia, Egypt Aden etc.	—	—
Great Britain	2,853	148,554
Norway	33	1,802
Finland	—	—
Germany	640	39,588
Netherlands	203	10,040
Belgo-Luxemburg Economic Federation	—	—
France	8	379
Russia & Siberia by land Frontier	16,236	890,284
Russia Asiatic ports	6,533	358,231
Korea	37	2,498
Japan (including Formosa)	38,801	2,128,659
U. S. A. (including Hawaii)	294,807	15,390,458
Belgium	—	—
Italy	—	—
Kwantung Leased Territory	—	—
Other Countries	—	—
Total	360,169	18,971,490
全輸出高對天津港輸出高ノ比	80%	83%
Exported from Tientsin port.	287,729	15,710,003

支那羊毛輸出高累年國別表並天津港輸出高 (1927—1933)

Jan.—May 1934
五ヶ月間天津港輸出高

Exported to	1927		1928		1929		1930		1931		1932		1933		picul	\$
	picul	\$	picul	\$	picul	\$	picul	\$	picul	\$	picul	\$	picul	\$		
Austria	—	—	—	—	—	—	—	—	32	1,996	—	—	—	—	—	—
Canada	—	—	—	—	—	—	615	32,226	—	—	—	—	—	—	—	—
Hongkong	17	928	2,120	108,325	283	10,513	124	4,836	127	7,924	—	—	—	—	—	—
French Indo-China	—	—	289	7,854	191	5,972	105	4,226	148	8,080	—	—	190	3,311	—	—
Singapore, Straits etc.,	—	—	334	17,195	457	17,823	99	3,861	—	—	—	—	—	—	—	—
British India	1	69	2	140	3	187	3	159	1	76	—	—	—	—	—	—
Turkey, Persia, Egypt Aden etc.	—	—	—	—	353	19,274	1,632	89,108	—	—	—	—	—	—	—	—
Great Britain	2,853	148,554	14,101	728,383	9,354	399,870	1,752	85,773	488	26,126	284	29,733	1,224	77,624	23	1,218
Norway	33	1,802	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Finland	—	—	17	850	17	848	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Germany	640	39,588	6,074	339,439	3,346	156,930	614	35,302	495	24,131	889	56,920	1,808	108,905	2,310	100,700
Netherlands	203	10,040	—	—	95	3,715	447	29,637	73	4,556	—	—	—	—	2,822	115,354
Belgo-Luxemburg Economic Federation	—	—	—	—	36	1,665	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
France	8	379	210	8,830	17	663	5	273	4	182	62	2,753	85	7,854	33	2,454
Russia & Siberia by land Frontier	16,236	890,284	16,969	656,232	—	—	3	112	—	—	—	—	—	—	—	—
Russia Asiatic ports	6,533	358,231	6,675	258,138	1,244	46,595	3,801	142,310	9,611	421,884	1,899	38,950	—	—	—	—
Korea	37	2,498	5	235	—	—	5	334	—	—	—	—	—	—	—	—
Japan (including Formosa)	38,801	2,128,659	46,653	2,420,851	39,546	1,609,711	27,421	1,072,776	901	53,493	127	11,490	1,829	91,878	1,148	86,200
U. S. A. (including Hawaii)	294,807	15,390,458	392,892	20,122,248	321,595	13,824,954	158,765	6,816,324	228,062	11,260,734	30,949	1,745,045	219,825	11,210,801	134,964	7,152,553
Belgium	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	2,478	341	23,129
Italy	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	9,397	23	1,368
Kwantung Leased Territory	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	33	174	10,000	—	—
Other Countries	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	84	10	643	—	—
Total	360,169	18,971,490	486,341	24,668,720	376,537	16,098,720	195,391	8,317,257	239,942	11,809,182	34,212	1,885,008	225,261	11,522,891	—	—
全輸出高對天津港輸出高ノ比	80%	83%	83%	84%	75%	70%	74%	68%	81%	81%	68%	81%	83%	88%	—	—
Exported from Tientsin port.	287,729	15,710,003	405,009	20,896,195	284,212	11,084,268	144,943	5,652,777	194,711	9,530,061	23,144	1,520,661	186,134	10,194,631	141,664	7,482,976

備考： 1933年七月分ヨリ支那海關統計ハ滿洲國諸港ニ關スル計數ヲ含マヌ。

年次	輸出高		割合	
	數量 (擔)	金額 (兩)	數量 (%)	金額 (%)
一九二七	48,600	1,200,000	85	85
一九二八	48,600	1,200,000	85	85
一九二九	48,600	1,200,000	85	85
一九三〇	48,600	1,200,000	85	85
一九三一	48,600	1,200,000	85	85
一九三二	48,600	1,200,000	85	85
一九三三	48,600	1,200,000	85	85
一九三四	48,600	1,200,000	85	85
一九三五	48,600	1,200,000	85	85
一九三六	48,600	1,200,000	85	85
一九三七	48,600	1,200,000	85	85
一九三八	48,600	1,200,000	85	85
一九三九	48,600	1,200,000	85	85
一九四〇	48,600	1,200,000	85	85
一九四一	48,600	1,200,000	85	85
一九四二	48,600	1,200,000	85	85
一九四三	48,600	1,200,000	85	85
一九四四	48,600	1,200,000	85	85
一九四五	48,600	1,200,000	85	85
一九四六	48,600	1,200,000	85	85
一九四七	48,600	1,200,000	85	85
一九四八	48,600	1,200,000	85	85
一九四九	48,600	1,200,000	85	85
一九五〇	48,600	1,200,000	85	85

支那全輸出額の約八五%内外を占め、其の年輸出數量は約三十萬擔（約三千萬斤）を普通とし一九二八年の如きは四十八萬六千擔（四千八百六十萬斤）に達せしことあり、重慶、上海、漢口、膠州等に次ぐ。一九二七年より一九三三年迄七ヶ年間に於ける支那羊毛輸出高累年國別表竝に之に對する天津港輸出高と其の割合及一九三四年一月より五月迄の天津港羊毛輸出高を示せば次の如し。尙次表は支那海關統計によりたるものにして一九三二年迄の金額は海關兩なりしを便宜現行標準弗價に換算の上作製せり。

第一節 天津に於ける主なる羊毛輸出商

天津に於ける羊毛輸出商は其の數約四十戸と稱せられ其の投資額は昭和五年度調に於て合計約九百萬兩（現行弗價換算額約一千三百三十萬弗）に及ぶとの事である。次に輸出商の重なるものを記せば

- 英 William Forbes & Co. (仁記洋行)
- Wilson & Co. (新泰)
- Liddell Bros. & Co., Ltd. (平和)
- Collins & Co. (高林)
- Simssen & Co. (禪臣)
- Mackenzie & Co. (隆茂)
- Jardine Matheson & Co. (怡和)
- Fair Child & Co. (永豐)
- Arnhold Bros. & Co. (安利)

米	Anderson Meyer & Co.	(慎昌洋行)
〃	Hatch Carter & Co.	(榮立)
獨	Carlowitz & Co.	(禮和)
米	China American Tdg. Co.	(美豐)
英	Chandless & Co.	(益昌)
	China & Java Exp. Co.	(德泰)
	North China Produce Co.	(華順)
	Melchers & Co.	(美最時)
	E. Gipperich & Co.	
	三井物産株式会社	
	荒岡	
	三島毛織株式会社	
	茂記洋行	
	晉信洋行	(飯田高島屋代理店)

上記外商の中資本大なるものは大抵倉庫、工場、壓搾捆包機、去塵機、洗滌機等を所有して居る。

第二節 出廻状態及數量

羊毛は剪毛後直に出廻を始むるも天津へ來る時期は原産地との距離の遠近に依り又交通運輸状態竝に羊毛相場の如何に依り遅速あるものである。

一時に多量出廻る時は必ず相場下落の誘因たるべく又天津に於ては倉敷料保険料等の諸掛多くを要

するため、原産地商人は買付後直に其の全部を天津に搬出するを常とするものに非ず、運搬に便利な奥地に手持し天津市場の氣配に應じ臨機搬入するもの多し。故に出廻は剪毛期後數ヶ月に及びて尙盡さず、年中多少の出廻あり、然れども剪毛期に應じ大體出廻期は一定し主なる原産地羊毛の入荷する季節は自然出廻數量の増加を來す。

大體に於て六、七月に出廻増加を爲し更に十一月に著しき増加を見翌年一月迄其の傾向を續く。主なる羊毛に付其の出廻季節を示せば

套毛	西寧套毛	十一月—六月	西路套毛	十月—五月、六月
	榆林	九月—十月	錦州	八月—十月
	庫倫	十月—三月		
抓子毛	豐字抓毛	六月—九月	西口抓毛	七月—十月
	包子	七月—十月	東口	六月—八月
散抓毛	交城散抓毛	六月—十月	封陽散抓毛	六月—九月
	蔚州	七月—八月	周村	七月—九月
	順德	六月—十月		
秋毛	交城秋毛	十月—十二月	封陽秋毛	十一月—二月
	蔚州	十月—十一月	西路	十一月—二月
	順德	十月—十一月	錦州	十一月—二月
寒羊毛	順德寒羊毛	五月—七月	辛集寒羊毛	五月—七月
	泊頭	五月—六月	大營	五月—六月

天津への羊毛出廻數量は年に依り増減ありて一定せざるも其の大勢として推定せられしものを示せば

西寧套毛	七〇千擔	西路套毛	一六〇
庫倫	七〇	錦州	二五
抓毛	三五	散抓毛	四〇
秋毛	一〇		
計	四一〇		

第三節 集散經路と運輸

羊毛が原產地より海港に出廻る迄には砂漠を渡り山を越え或は車輛に依り又は馱子と稱して家畜の背に載せ、水路、鐵路に依る等種々の方法に依り輸送せらるゝものである。即ち先づ羊毛は原產地附近の市場に集り更に鐵道沿線にある地方集散市場に搬出せられそれより鐵道により天津に出廻るのである。

蒙古方面の羊毛にて南方に出廻るものは京綏線、京奉線に依り天津に、又東方に出廻るものは錦州を経て京奉線に依り天津に、又は通遼洮南等に集り四洮線、滿鐵線により大連、營口を経て天津に來るものもある。又北方にては東支線に依り浦鹽を経て上海方面に仕向けらるゝこともある。青海、甘肅方面のものは寧夏又は石嘴より黄河を下り包頭に出で京綏線に依り天津に出廻る。又天津附近にて

順德鄭州方面に出廻るものは京漢、京奉線に依り、交城方面のものは榆次を経て正太、京漢京奉線により又周村方面のものは膠濟、津浦線に依り天津に搬出せらる。

第四節 奥地に於ける運輸機關

原產地地方に於ける輸送機關は實に幼稚なるものにて長さ歲月を経るも進歩改良不可能なるもの如く、今尙牛車、駱駝車、馬車及牛、駱駝、馬、騾、驢、犁牛等の家畜の馱載に依つてゐる。之等の輸送能力を表示せば

種別	能力	積載量		良一日		不良行程	
		重量	支量	重量	支量	重量	支量
牛車	二〇〇	四〇〇	五〇	六〇	五〇	五〇	
駱頭大車	二〇〇	四〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
二頭大車	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
駱頭大車	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
馬車	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
騾子	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
驢子	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
馱子	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	
犁半	一〇〇	二〇〇	七〇	八〇	五〇	五〇	

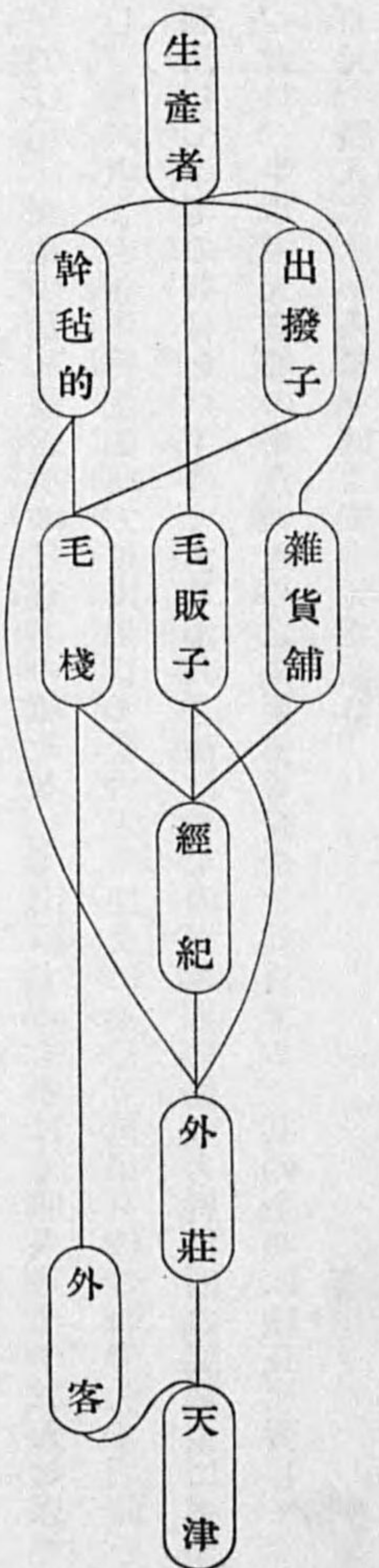
第五節 主なる集散市場

地方羊毛集散市場の主なるもの及其の推定出廻數量を示せば

張家口(察哈爾省)	推定出廻數量	一〇〇・〇千擔
歸化城(綏遠省)		三〇・〇
包頭(滿洲國)		二〇〇・〇
錦州(滿洲國)		一七・〇
赤峰		二〇・〇
奉天	(内六〇%は大連、營口を経て天津へ仕向けらる)	一〇〇・〇
鄭家屯		一・五
通遼		一〇〇・〇
洮南		四・五
海拉爾		二〇〇・〇
交城(山西省)		〇・五
順德(河北省)		一〇〇・〇
河南省		〇・五
山東省		一〇〇・〇
四川省		三〇〇・〇
合計		四六四・〇

上海に出廻るものは浙江、四川産のものにして上海よりの輸出數量は年二萬擔内外にて大部分漢口、重慶の仲繼である。

第三章 原産地に於ける羊毛取引事情



羊毛の買出は各地方と場合とに依り一様ではないが大部分を産する遊牧地方に於ては大同小異である。原産者より買出しを爲すものは奥地に行商を爲す出撥子 (Chu Po Tzu) 毛販子 (Mao Fan Tzu) 幹毡的 (Kan Chan Ti) 等にして、地方集散市場にて羊毛取引に重きを爲すものは皮毛棧、雜貨舖經紀等である。其の取引關係を示せば右掲圖の如く夫々の取扱法を示せば次の如し。

第一節 出撥子 (Chu Po Tzu)

出撥子は日用品雜貨、布帛、雜穀其他食料品等を携行して、水草を追ひて移動する蒙古人の後を追

ひて交易に従事する行商人にして、其の交易の對價として受くるものは蒙古人の餘剰品にて羊毛あり、獸毛あり、皮革あり、生畜ある等一定せざる爲め多量の羊毛を集むることは困難なるも、買出には相當の地位を占むると云ふ。彼等の取引は三年決済にて連續的に行はれ其の間の危険、利息等は出撥子の負擔にて、彼等は蒙古人の無智に乗じ常に欺瞞を用ひて取引を爲し、受取る畜産品の價格を非常に安く見積り又其の數量を誤魔化す等は尋常事とせるを以て、彼等は羊毛を割安く仕入るゝことを得るも數量の纏まらぬ缺點がある。

第二節 幹毡的 (Khan Chuan Ti)

幹毡的は毡子製造の爲め蒙古奥地に數名の組をなして出稼するものにて四人乃至十二人を以て一組を爲し、四月頃より年々得意先地方に出張して蒙古人の注文に應じて毡子を造るのである。此の幹毡的を利用して羊毛の買付を爲すのであるが其方法は羊毛の出廻りに先立ち幹毡的の巡業中に必要な器具、食料、牛車、天幕等の用意のため之に要する資金を前貸する。其の金額は職長に對しては百乃至二百元、職人には一人當り四、五十元である。

毡子 (Chuan Tzu) とは羊毛にて造るフェルトにて蒙古人の居住上必要なものである。蒙古人は原料たる羊毛を提供し毡子製造費用として金錢の代りに羊毛を支拂ふ。其の取引の一例を示せば蒙古人百頭分の羊毛を提供せば毡子の重量一枚凡そ十五、六斤 (巾四尺長八尺) を六枚位造りて依頼者に與

へ殘餘の羊毛は報酬として幹毡的の所得となす。緬羊百頭分の羊毛は大凡百五十斤にて六枚に百斤を要すると見て残り五十斤は幹毡的に歸する譯である。此の一隊の蒐集羊毛量は八十乃至百擔餘に及ぶことありと。斯くて搬出せられたる羊毛は先に契約したる買辦の外莊、其の他の羊毛商に引渡し前借を決済し残りは幹毡的の收得となるのである。

第三節 毛販子 (Mao Fan Tzu)

毛販子は蒙古奥地に入り込み羊毛の買出を專業とするものにて前掲幹毡的より發達したるものにて、京綏沿線方面及西部地方集散地の羊毛取引に勢力あり。而して其の買付に毛販子が蒙古奥地へ現金を持參することは稀にて、匪賊の危険あり又持參し得る金額には限度もあり多量の買付には不便である。現金持參する場合は毛販子が信用を有せざる場合又は呼倫貝爾外蒙古地方等蒙古人の間に紙幣の流通する所に限らる。普通の取引としては蒙古奥地に入り羊毛の買付契約を爲し時に依り代金の一部を前渡し、蒙古人は之を毛販子指定の市場に搬出して毛販子に交附し現金又は彼等の要求する日用品等を以て決済し、殘金は毛販子にて預りて翌年の取引に振り當て又不足を生ぜし場合は翌年迄掛貸とする。又毛販子は票により買付をなす場合あり。羊毛買取に對し長さ五、六寸巾二寸位の紙片に品名、取引數量、價額、取引月日、屋號代金支拂日たる票期を記入して原産者に交附し、羊毛は直に引き取りて市場に搬出す。而して賣手は期日に該票を持參し毛販子の本據に行き現金又は日用品を以て

決濟を受けるのである。毛販子は羊毛の買出上に最も勢力を有し大部分の羊毛は彼等の手に依りて搬出せらる。彼等は天津方面よりの大抵市場に宏壯なる店舗を構へ季節には各方面に店員を派遣して買付を爲し又店内には天津方面よりの商人を宿泊せしめて販賣の方にも緊密なる連絡を取る様心懸けて居る。

第四章 地方集散市場に於ける羊毛取引事情

地方市場に於て羊毛取引に従事する商人は買辦の出張所たる外莊、歇家、毛棧、毛販子、經紀等である。

第一節 外 莊 (Wai Chuang)

外莊は毛販子、幹毡的等奥地に買付に入る商人に買付資金の前貸を爲し蒐貨に勉めたるものなれど、大抵皆資金の回収不可能に陥り概ね失敗に歸したるため現在にては其の數も減じ前貸は行はれない。

第二節 歇 家 (Hsieh Chia)

歇家は雜貨舗にて奥地に出撥子を出し又羊毛其他の物資を携帯して入市し來る蒙古人を自己の店内に導き無料にて宿泊せしめ其の販賣を受託し、他方蒙古人の需要物資を供給し雙方の決濟に餘剰ある時は其儘來年度に繰越す。

第三節 毛 販 子 (Mao Fan Tzu)

毛販子に付きては前掲説明せし通りなるも其の外、外莊を自己の店内に宿泊せしめて羊毛蒐貨に仲介の勞を取り地方市場に於ける取引上相當重要な地位にある。

第四節 經 紀 (Ching chi)

經紀は跑合兒 (Pao Ho Erh) とも言ひ仲介商にして自ら店舗を構へず關係商人の間を往來して賣買の仲介をなし手数料を徴するもの即ちブローカーである。

第五節 毛 棧 (Mao Chan)

毛棧は皮毛棧とも稱せられ貨棧の如く宿屋と問屋とを兼ね又自己の計算にて羊毛買付を爲す。幹毡的、毛販子等を宿泊せしめ倉庫の設備を有して彼等の搬出したる羊毛を保管し之を擔保として金融を爲すこともあり、或は賣買仲介の勞を取る。之に對し手数料として大體二分乃至二分五厘見當の收得を爲す。而して荷主の宿泊料、倉敷料は之を徴せざる慣はしにて食費の實費を徴す。

第六節 取 引 方 法

羊毛の取引が開始せらるゝを開盤と稱す。開盤に先立ち買手は各問屋の倉庫に付て羊毛の品質夾雜物等を検査し、賣手は之を出來得る限り高價に賣らんとし買手は極力安價に買付けんと勉め、相互間に種々懸引行はれ其の間毛棧は相互の商況を眺めて仲介の勞を取り商談の進行に勉むる。斯くて開盤に至るは大抵羊毛が大半市場に出廻りし頃である。開盤に際し賣手に立つものは其の市場に於ける相

當の有力者である。而して出來たる相場は非常なる買付競争又は市況に大なる變化の無き限りは「隨行市」と稱せられて其の季節に於ける標準相場となるのである。

賣手の中には賣買約定後に於て賣約済羊毛に土砂等の夾雜物を混じ或は水分を加へ又は掛繩を重量あるものと取り換ふるものあり、此の場合看貫前に之を發見することを得ば買約を取り消し又は條件を變更せしむることを得るも、看貫後は抗議を爲すとも慣習に依り無効なれば買手は此の點に付充分の注意を拂ふ必要がある。

第七節 代金の決済

買付羊毛代金の決済は地方の慣習により年三回又は四回の決済期に行はれ、外莊の買付は現金拂を原則とし此の場合は銀行券を用ふ。或は一覽又は一覽後二日乃至十日拂位の支拂地を天津とせる約手を以て爲す。又包頭、張家口等主なる地方集散市場には中國銀行等其の他 Native Bank の支店、出張所等ありて Draft payable at Tientsin も使用せらるゝことあるも、後述理由に依り天津にある外商の奥地出張買付は昔日の如く振はず、大抵天津市場に於て買付を爲すを以て右の決済法は極く一部のみに限られてゐる。

第五章 天津に於ける羊毛取引事情

外客 (Wai Ko) とは奥地商人の天津へ出張せる者を言ふ。外莊が買付のため奥地に入り込むとは反對の立場にあるも外莊と外客との仕事は大體相似た點がある。外客は天津の客棧或は貨棧に宿泊し常に羊毛市況に注意して適時之を奥地の本店に通知するは勿論、天津取引先に對して注意を拂ひ其の信用程度商振等仔細に調査し、取引に對し代金の決済、羊毛の受渡等に差支なき様に努める。而して奥地の本店は天津へ向け羊毛を發送した場合は、之に對し天津拂の手形を發行し奥地市場の Native Bank に依り金融を得るを以て、天津にある外客は其の羊毛を有利に賣却する様努力するは勿論、手形の支拂期日 (一覽後十五日、又は一ヶ月拂位) に支拂の準備を爲すを要す。手形期日迄に羊毛の賣却出來たる時は其の受取代金を以て手形を決済するも、若し賣捌かれぬ時は之を擔保として貨棧より融通を受けて決済するのである。若し此の決済に遅るゝ時は金融業者間に取引停止に遭ひ其の後の營業に尠からず不便を負ふに至る。上述の如く外客は奥地商人の營業上には樞要の機關にて羊毛を天津に搬出する上に重要な役を爲す。

近年來天津に於ける外商の羊毛買付方法は從來外商の買付を代行する買辦の經營に係る。奥地に在つて買付をなす外莊は

イ、羊毛の出廻前より奥地に滞在或は常に滞在しなければならず相當の經費を必要とすること。

ロ、比較的天津市場の相場より下廻るも出張費 Cargo を天津へ輸送するに要する諸費用を Cover

せぬ傾向にあり運送の危険も加はる。

ハ、従来外莊は買付契約をなすに當り毛販子、幹毡的に奥地へ入る買付資金の一部を前貸せしも其の季に於ける羊毛の出来榮等不明にして收穫に危険を伴ふこと。

ニ、従来は奥地でなければ大體同一の品質のものを多量に買付くること困難なりしも現在は天津市場に十萬擔近くの Stock もあり其の不便なくなりしこと。

ホ、奥地地方集散市場に於ける相場は或る季に於て出来たる相場は「隨行市」と稱して其の季に於ける標準相場となり、甚だしく品質の劣れるものも隨行市に従ひ標準相場を主張維持し、時には天津市場相場より上廻ることさへ現出す、昨年如き西寧套毛は一時奥地市場相場の方が天津市場相場より一擔に付十弗近くも上廻りしことさへあり。

之等の理由に依り奥地出張買付は現在殆ど行はれず、外商は買辦を通して殆ど天津市場にて買付くる現状にて、奥地外莊は影を薄くし昔日の如き面影を止めざる有様である。

買辦 (Mai Pan) 外商は支那に於て商賣するに當り言語に通ぜず、複雑なる度量衡、金融状態其他の商慣習に暗く、相手の信用状態等も不明に付、外商に代りて賣買の折衝をなさしむる信用ある有爲の支那人を専屬としてゐる。之を買辦と言ふ。買付より外商の手に移る迄の取扱をなすものである。買辦は所屬の洋行内に賬房と稱して自ら別個の機關を作り自己の計算を以て使用人を雇備し外商の別

動機關として其の援助の下に活動をなすものである。外商は之に月々一定額の經費を支給し外商所有の倉庫の使用を許し時には買付資金を融通し買賣成立に當り二分内外（契約に依り一定せず）の手數料を與ふるを普通とす。買辦は外商に對し保證人を立て證書を差し入れ其の商行爲に對しては買辦自ら一切の責に任ず。買辦の中には其の實力次第に充實し所屬洋行の不振に對しては資金の融通をなし或は外商と共營するものも出来、或は洋行の商號を買收して自ら營業するものも現はれ支那商が外國貿易に迄進出し來りし傾向にあるは注意すべきことである。現在天津に於ける有力なる買辦は約二十軒餘にして其の資産は五萬乃至二百萬元に達するものもあり。

外莊 (Wai Chuang) とは買出しのため奥地市場に派遣せらるゝものにて、有力なる外莊は大抵買辦の經營に係り奥地に於ける買辦の出張所に等しきものである。買付に關しては買辦の指圖を受くるも買辦及自己の信用を利用し一切の責任を負ひ臨機の處置をなす。然れども近來買辦の取引は天津市場のみに限らるゝに至り外莊との關係は離れたるも尙獨立して營業をなすものあり。

跑合兒 (Pao Ho Eih) とは天津市場に於ける仲介人即ちブローカーにして輸出商と外客との間に立ち仲介の勞を取り商談を成立せしめ手數料を收得するを業とす。常に外客及貨棧に出入し外客よりの賣値及見本を得、各輸出商洋行に奔走商談を進む。而して彼等は賣買の當事者と馴合ひ手數料の他に不當の心付を得る等の事なきを保し難く、最も油斷のならぬ商人なれど天津市場羊毛取引には必要缺く

べからざるものとなつて居る。跑合兒の仲買口錢は普通賣上代金の一分以内とされてゐる。若し賣買兩者の間に値段折合はざる場合は自己の口錢を犠牲にして取引を成立せしむることありと。而して之を包行市 (Pao Hang Shih) と稱せらる。主なるものを數ふれば約十五名である。

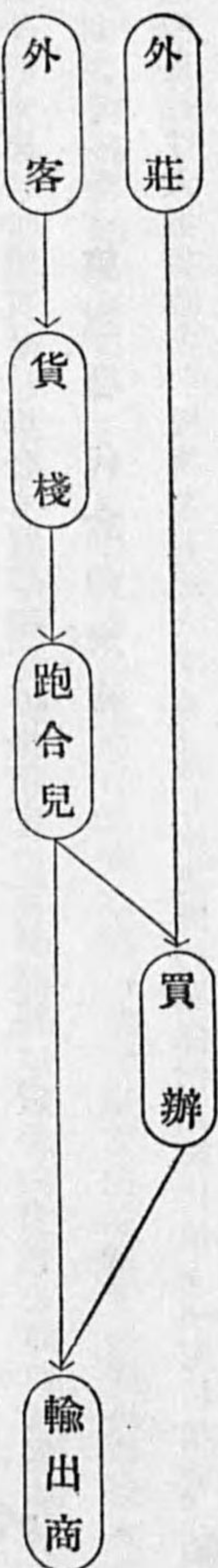
貨棧 (Huo Chan) は宿屋業、倉庫業並に在庫品に對する金融、賣買の仲介並に是等に附隨する業務を營み天津市場羊毛取引上重要な地位にあり。貨棧には夫々得意方面ありて或るものは張家口方面に勢力あり、其の地方の有力なる荷主を主たる得意とし、又或るものは包頭方面に主として得意を有する如きである。又其の取扱ふ商品の中細皮を主とするもの、粗皮を主とするもの、羊毛其の他獸毛を主とするもの等あり後者は之を毛棧とも稱せらる。天津に於ける有力なる羊毛を取扱ふ貨棧の數は約十三店あり。

外客を店内に宿泊せしむるには大抵一室の一方に數個の寢臺を連ね一外客に一個宛を提供するに過ぎず一室に數人の外客が同時に泊つて居る。中央には机、椅子湯茶の設備位のみ。然し普通には一室を一外客に提供し看板を掲げ宿所と營業所を兼ねるもの多し。外客よりは室代を徴せず食事は貨棧にて給し其の實費として月拾餘元を申受けてゐる。

外客の貨物が到着せし時は通關、運搬を代辨し倉庫に入れ之に對し棧租 (倉敷料) を徴す。外客の請求に應じ其の在庫品を擔保として押款 (資金の融通) をなす。此の場合貨棧は自己の資本を用ふる

も市中の錢舗又は洋行筋の資金に依る場合あり。貸付限度は事情に依り一定せざるも大體寄託物の時價の七掛即ち七十扣である。貸付利子は場合に依り一定せざるも普通一五%乃至二〇% P. P. 見當なりと。貨棧は賣買に對し仲介の勞を取り受渡決済をも外客に代りて行ひ手数料普通一分を收得す。要するに貨棧の營業は賣買の手數料、在庫品に對する融資金利の鞘、倉敷料を收得するものにて又火災保險の代理取扱をなし其の收益も少くなす。

第一節 取引法及商慣習



奥地の地方集散市場に於ける羊毛商より羊毛が天津に向け積み出され其の出張員たる外客が之を受け取り貨棧に寄託して輸出商の手に渡る経路は右圖の如し。近來外商は羊毛の買付を殆ど總て天津市場にてなす爲め買付競争は相當激甚となり、又外客は天津市場に於て奥地よりも有利に金融の途を得るため容易に手持を離さぬ傾向を見せ稍々其の取引は六ヶ敷くなつた觀がある。扱て外客は其の搬出したる羊毛を貨棧に寄託し跑合兒を介して買辦を通じ又は直接輸出商と賣買をなす。

第一項 見本の提示

輸出商は海外よりの注文に依り出入の跑合兒に所要の條項を指示す。跑合兒は手持筋貨棧を通し外客より所要の小様子（小見本）一、二俵を買店に持參し、買手は之に依り品質歩留の検査を爲し買値を定め、取引成立すれば更に大様子五、六俵乃至二十俵の見本を徴し再検査の上賣買成立すれば受渡を爲すのであるが、若し検査の上見本と相違し成績不可の場合は買約の取消を爲すことを得。

第二項 受 渡

羊毛は買手の倉庫に持込み買手の計量器にて看貫受渡す。それ迄の運賃諸掛は賣主の負擔である。若し賣手の倉庫にて看貫せし場合も買手指定の場所迄の運賃諸掛は賣手の負擔とされて居る。

第三項 代金の決済

代金の支拂は大抵貨物と引換拂を普通とする。然し兩者間の關係信用等に依り一定しない。輸出商、外商の買付は買辦を通じて爲すが其の場合賣主は普通二分の行用（口錢）を買辦に支拂ふ。若し買辦を使用せずして、直接取引された場合も呼値より二分を引き去りたるものを決済の値段とする習慣あり。之を稱して九八扣と云ふ。

之に依つて外客の受くる賣却正味手取金は

買 辦 行 用	二 分
貨棧並に跑合兒手数料	一 分 乃 至 二 分
買手倉庫迄の運賃諸掛實費	

を差引きたる殘額である。尙又此の外貨棧に對し融資を受けたる利子倉敷料、保険料、食費の實費等を支拂ふべきは前掲貨棧の項にて述べたる通りである。

第二節 相 場

羊毛の相場は其の中心市場たる天津に據て動いて居り其の相場は國際的竝に國內的諸原因によりて決まる。凡そ滿支羊毛の最大需要國たる米國はカーペットツールとして消費し米國のカーペット工業は羊毛の消費額年一億二千萬封度乃至一億五千萬封度にして其の三十%乃至五〇%を滿支に仰ぎ居る状態である。

米國は高き關稅を設けてカーペット工業を保護し斯業の爲め世界の羊毛原料を吸引に勉めて居る。随つて米國市場の需要に對し支那市場の供給即ち奧地よりの出廻狀況如何により支那商對輸出商の取引が主因となり之に地方消費が影響して羊毛相場が決定せらるゝ有様である。天津に於ける羊毛の出廻時期は五、六月に初り十一、十二月に大量入荷するを常とするを以て輸出商は之に依り特異の事情を斟酌して買付計畫を樹つるを以て自然其の間は取引活潑にて相場の動きも著しい。相場は不斷に騰落するが豫定の買付時季に於ける買付計畫に對し出廻の多少が其の主要な原因を爲して上下する。其他原産地方面よりの運賃等諸掛の増減或は政變、内亂、不作等の諸原因に影響せらる。

左に天津に於て標準相場である西寧套毛の最近四ヶ年間に於ける各月別基準相場を示せば次の如し。

西寧羊毛相場月別表
1930—1933

	1930	1931	1932	1933
January	¥. 43.00	¥. 34.00	¥. 33.00	¥. 23.00
February	43.00	38.00	34.50	22.00
March	44.00	42.00	32.00	24.00
April	44.00	44.00	30.00	¥. 26.00
May	42.00	40.00	30.00	31.00
June	41.00	41.00	30.00	42.00
July	42.00	40.00	29.00	46.00
August	40.00	44.00	29.00	48.00
Sept.	38.00	44.00	28.00	46.00
October	36.00	41.00	26.00	40.00
November	36.00	40.00	26.00	40.00
December	36.00	36.00	23.00	34.00
Average	\$. 59.91	\$. 59.79	\$. 43.00	\$. 37.94

右表中一九三三年四月に於て二六弗の最底相場を現出せしは一時米國よりの買注文減少せしに因る

ものの如し。當地羊毛相場は前述の如く主として北米向輸出に従事せる英、米輸出商に依りて左右されて居るのであるが濠洲の如く Auction に依るものの如き Fluctuation 少なき點は一面買付容易なる如きも現在天津に於ける羊毛相場の左右は殆ど外商の獨占の觀がある。

第六章 支那及滿洲國の羊

今日の世界の羊種は改良に改良を加えられて實に數十種の多きに達し極めて優良のものがあるが、滿支に於ては在來種の儘にて何等改良されたることなく各地方に於ける氣候、風土飼養管理の如何に依り體軀、毛質等にも多少の相違がある。何れの地方のものも尾推骨を包圍して扁平なる脂肪瘤があり所謂脂肪羊種 Fat tailed sheep である。其の飼養管理の如きも牧羊は專業と副業に別れ前者は蒙古、青海、西藏地方の遊牧民の生業にして後者は農民が農耕の傍之を行ふのである。而して彼等の牧羊は數千年來の實地の經驗のみに依り今日に至りたるものにて飼養法粗放なれど大過なきものの如く羊も亦自ら自然の脅威に馴れ粗放なる牧羊法に堪へ居る模様である。

第一節 羊種改良

滿支の羊種改良に就ては夙に識者の留意せし處にて約三十年前より支那當局、本邦人、外人側に於ても行はれて居る。其の方法は外國の優良種を入れ在來種と交配して改良の實を擧ぐることと勉めた

のである。斯くて優良なる雜種を得ることに科學的試験には成功せしも其の普及する點に就ては未だ見るべき成果なく尙將來に研究すべき幾多の問題を残して居る。

在來種の收毛量

地方	收毛量	
	收	毛
呼倫貝爾(滿洲國)	牡羊	牝羊
外蒙	牡羊	牝羊
蒙古	大	均
蒙古	大	均
山西	大	均
山西	大	均
山東	大	均

改良種の産毛量

山西省模範牧場に於ける剪毛試験成績を示せば左表の如し。

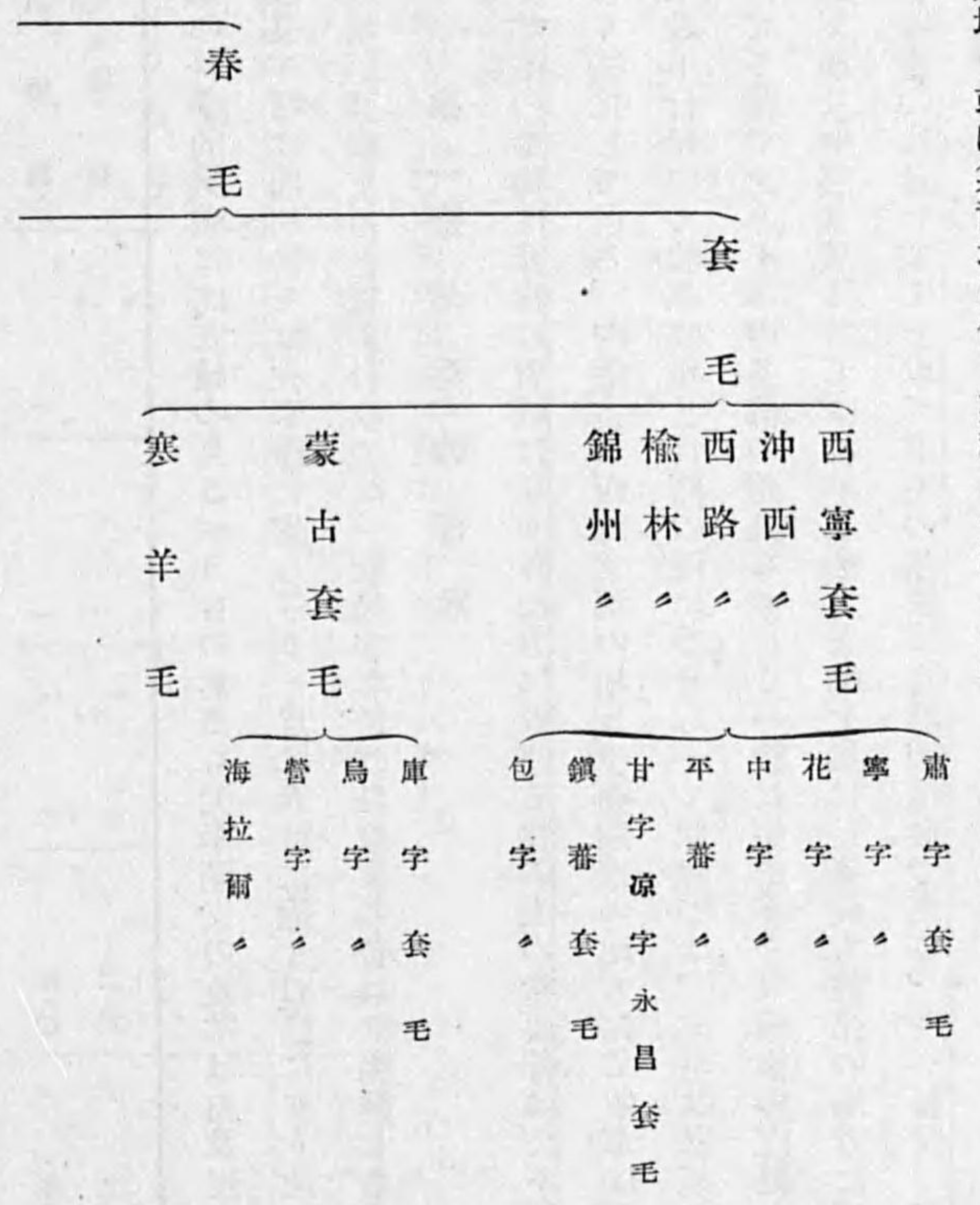
種別	別回		計數	毛量		
	春	秋		最大	最小	平均
メリノ種牡	—	—	—	二二・〇斤	一一・五斤	一五・〇斤
メリノ種牝	—	—	—	一七・〇	九・〇	一二・〇
三回雜種	—	—	—	一二・〇	六・〇	九・〇
二回雜種	—	—	—	八・〇	二・五	五・五

各地試験場の科學的試験には成績の見るべきものもあるも元來滿支の牧羊は肉及皮を取るを目的とし來れる爲め改良羊種は肉に於ては在來種に劣らざるも皮は衣料に適せぬ様になり此の點は單に收毛量が増加し又相場が高騰すると言ふのみでは一般牧羊者に改良事業の普及は困難なる模様である。

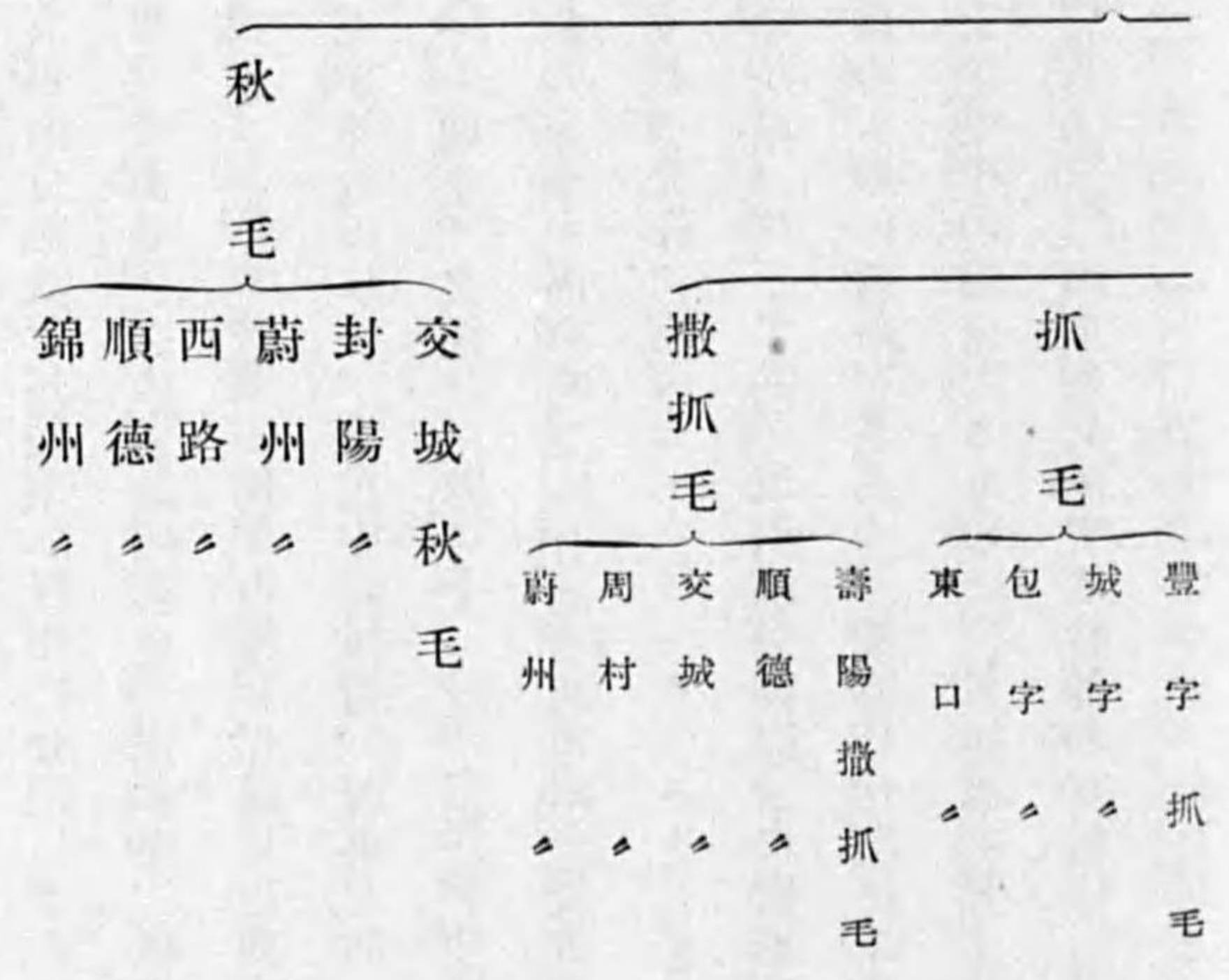
第二節 羊毛の種類

前述の如く羊毛の産地は非常に廣域に亙り各地方に於ける牧羊上の諸要件は夫々相違し随つて羊毛の品質も甚しく變化して居る。内蒙古及西部支那の如き冬季酷寒の地方にて牧草は稀薄なる上而も管理は極めて粗放不行届にて牧羊は殆ど自然の儘に委せらるゝ状態では、羊毛は寒氣の爲に自然厚くなるも長さ極めて不揃でフリースの各部の差異も甚しく一般に短毛多く又纖維の直經も異なるのである。又北部支那及中部支那に於ては牧羊は稍之と趣を異にし氣候も前記の地方に比して暖にして管理も稍行届き普通の注意を施すを以て羊毛の品質は自然稍佳良である。斯く氣候、飼糧、牧畜方法等の諸環境が永年間に亙り羊に作用し遂に今日の如く各地方毎に大體特定せる品質の羊毛を産する様になつたものである。されば支那商は羊毛の産地に依り或は採毛の季節に依り或は採毛の方法及形状等に依り仔細に類別し其の稱呼に依りて大體の品質を知りて取引を爲す所以である。即ち採毛の季節に

依り春毛、秋毛、伏毛又は熱毛等、採毛の方法、形状に依り套毛、又は大片兒、抓毛、散抓毛、挽子毛等、之を更に産地又は主要集散地により例へば套毛の場合は西寧套毛、西路套毛等に分ち、又更に地方の主要産地、或は集散地に依り數種に分類されたるものを示せば、



羊毛



以上は滿支羊毛の分類法であるが外商の輸出羊毛の分類は彼等永年の研究に基づき需要者の要求をも斟酌して大體

Hsining rope wool 西寧套毛
Hsinu rope wool 西路套毛

Ball wool	抓毛
Lamb wool	寒羊毛
Open ball wool	撒抓毛

等支那市場にて用ひらるゝ名稱を其儘用ひ同一又は近似せる品質のものは右の内へ入れて輸出する。又或るものは支那商分類法を其儘用ひ仔細に分類してそれに等級を付し例へば庫字套毛一等品、二等品と言ふが如き之である。次に前述の套毛、寒羊毛、抓毛、撒抓毛、秋毛に付簡單に説明すれば、套毛 (Tho Mao) 冬季最寒の候羊の體を保護せし長く密生せし羊毛は陽春に至り脱落するを以て之に先立ち剪毛するものにて、輸送中に拔荷、脱落を防止するため繩狀に燃り出市するを以て外商は之を Rope wool と稱す。又繩狀に燃らず一枚、一枚積み重ねて搬出する事もあり之を大片兒 (Ta Pei Erh) と稱す。此の套毛中西寧套毛は甘肅省西寧附近及青海一帯の高原に産し滿支羊毛中纖維最も粗長にして張力あり且つ光澤に富みカーベットウールとしての特性を具備せるを以て套毛中の上位にありて産額各種羊毛中第一にして其の取引は重要視され價格最も高く天津羊毛相場の標準となつて居る。尙套毛中の優良のものに西路套毛あり、綏遠及甘肅に産し包頭市場に出廻る套毛にして纖維細く強力あり品質は滿支羊毛中の優良なるものにして從來本邦に輸入せらるゝものは主に此の種である。寒羊毛、河北、河南、山東省に産する特種の套毛にして外商は Lamb wool と稱す。纖維細く捲縮性に富み光澤あり夾雜物も少く滿支羊毛中第一位に居る。從來邦商に依り少量宛我國に輸入す。

抓毛 山西、河北の北部及包頭附近に産し清明節前後に抓子又は鈎子を用ひ羊體より毛を掻き取りたるものにして採取後、球狀に束ねるため外商は Ball wool (玉毛) と言ふ。抓子にて取りたる毛の中粗毛、死毛、夾雜物の多き部分は繕りを加へて繩狀となし内部に巻き込み其外面を絨毛多くして夾雜物なき部分を以て包み一個の大きさ直徑三、四寸二十夕内外あり、玉毛の外部を包む上等品を頭路貨、内部の繩狀をなす長さ一尺内外の品質甚しく遜色あるを二路貨と稱し市中では頭路貨のみ集めて取引を爲すことあり。

撒抓毛 河北、山東、山西に産し採毛時は清明節前後抓毛と同じく抓子を以て羊體より掻き取る。其の抓毛と異なる點は採取の方法及形狀にして纖維は細粗良否の別なく混交し玉狀を爲さず。外商は之を Open ball と稱す。

秋毛 絨毛無く毛足短さも長さ一定し脂肪少く又夾雜物も少くして春毛と全く趣を異にす。斯く特種の品質を有する關係上秋毛は絨毯及毡子の原料として好んで使用せられ海外に輸出せらるゝ事は極めて稀である。

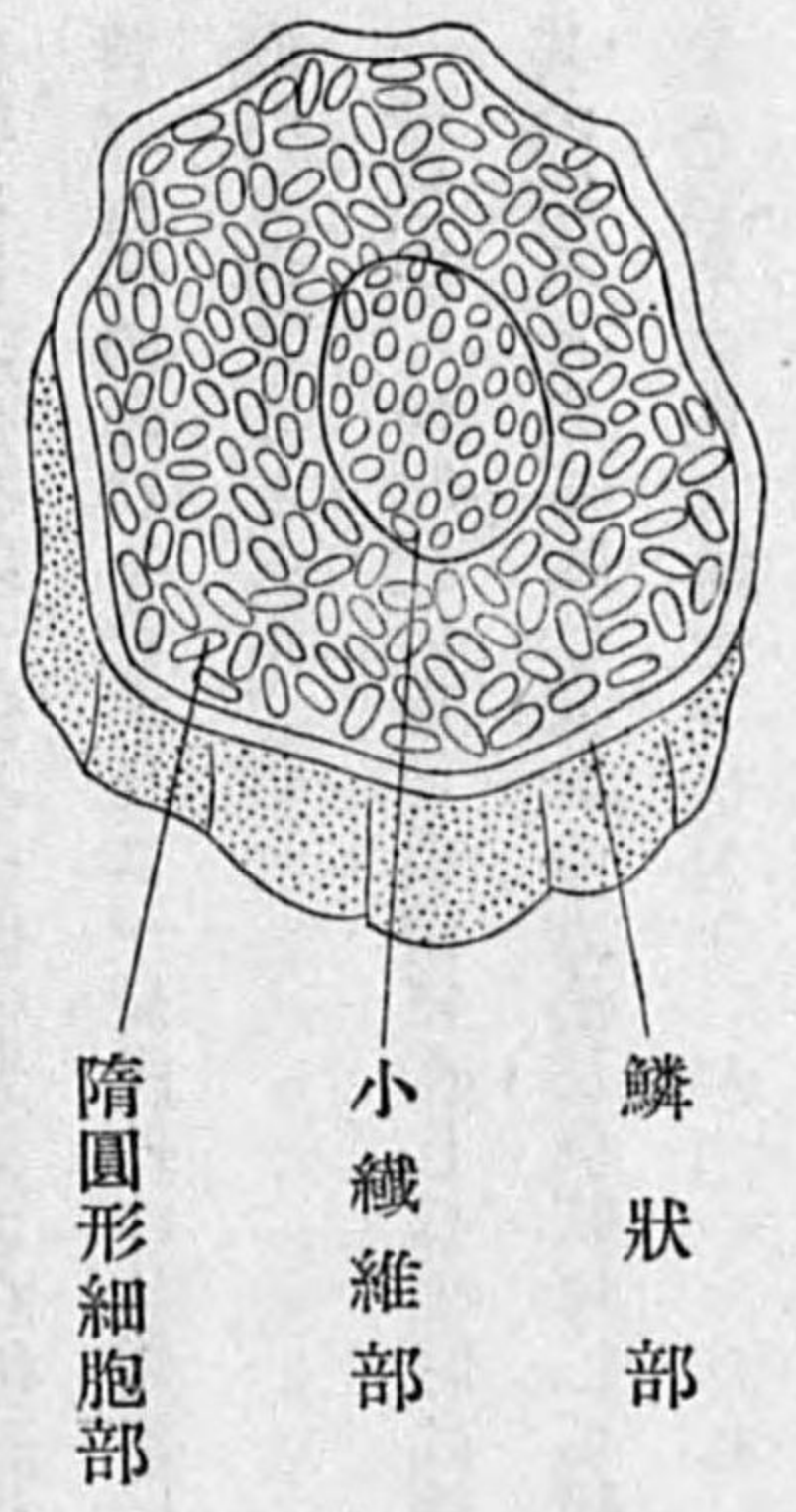
今上記分類に依る推定概算年産額を示せば左の如し。

套毛	約	四二四、〇〇〇
撒抓毛	々	六五、〇〇〇
玉毛	々	四三、〇〇〇

第三節 羊毛の構造並に滿支羊毛の品質

羊毛の品質は纖維の長さ及直徑の大小、重量、鱗及捲縮の多少、水分の多少、強力、伸度及彈力の大小、色澤硬軟等に依りて定まるのであるが、先づ羊毛に就て知るために其の構造を詳にすれば左圖の如く鱗狀部、隋圓形細胞部、小纖維部の三部分よりなる。

第一項 鱗狀部



鱗狀部

小纖維部

隋圓形細胞部

外部を構成する角質鱗狀の物質にして之を *Scale* と言ふ。此の鱗が纖維の外部を包み鱗の端は鋸齒狀の切断面を呈し羊毛の硬度並にフェルチングの性能を助くるのである。鱗の性状及數の多少は羊毛の品質に重大なる關係を有し鱗の數多きものは之に比例して捲縮多し纖維の直徑は細くて品質佳良であるが、之に反するものは品質の劣れるものである。實に此の鱗の状態を以て羊毛の品質の分類が出来得る位羊毛品質の良否に關係を持つものである。

一、鱗質堅く其の尖端が纖維に密着せるものは粗毛の程度に近く下等羊毛である。

- 一、鱗の數が前者よりも多く其の質柔で尖端が稍纖維より分離せるものは品質前者に優る。
- 一、鱗美麗にして多く柔軟にして尖端の三分の一位離れるものは纖維が美しくメリノー種及其の雜種羊毛は之に屬し品質優良のものである。

第二項 隋圓形細胞部 (Cortex)

隋圓形細胞の群集せる細胞層にして羊毛組織の主要部分を成し主として羊毛に強さと彈力性とを付與す。纖維が細い時は此の部分の發育が均一なり難く多少一側に偏する傾向あるため纖維を一側に捲縮して波狀の外観を呈しフェルチングを助く。

第三項 小纖維部 (Medulla 又は Fibrillae)

中心を構成する圓形細胞の集合せる小纖維層よりなり、此の直徑は一定せず毛徑の四分の一—三分の一等様々である。此の小纖維部は毛の發育中之れにて毛根よりの液汁を供給して發育を促進し又纖維に多孔性を付與し毛細管作用に依り染料等の液汁を吸収して漸次中層へ普及せしむるのである。

第四節 滿支羊毛の特質

- 一、羊毛の外部を構成する角質鱗狀の物質 *Scale* 鱗の尖端は太き纖維に癒着せるを以て捲縮性乏しく柔軟ならず質堅硬にして撚れ難く縮絨し難し。
- 一、伸度は外國相當品と左程の相違なきも強度は概して劣る。

一、概ね光澤に乏しく又色は雪白なるを良しとするも砂地、黄土地に飼育されたるものは概して帯黄色にて海拉爾地方には黒色褐色の斑を有する羊が居り之が白色毛の中に混じて市場に出で商品價値を減すと云ふ。

一、概して脂肪は少きも寒地産のものは稍多き傾向あり。

滿鐵中央試験所にて試験せし羊毛に付ての上記の關係は次の如し。

單位は種三十回の平均數
直徑は種を單位とし十回の平均數
鱗は一種間の數十回の平均數
捲縮は二・五種間の數三十回平均數

産地	種類	長サ	鱗	直徑	捲縮	硬軟
西寧	套毛	一一・九	四八〇	〇・〇四三	五・二	稍硬
西路	套毛	九・八	四〇〇	〇・〇四〇	六・四	同
庫倫	套毛	一〇・九	四二〇	〇・〇四六	五・一	稍粗
肅州	套毛	一五・五	三五五	〇・〇四二	四・九	稍軟
錦州	套毛	九・八	四二五	〇・〇四六	五・六	稍硬
洮南	套毛	一一・七	四二五	〇・〇四八	五・七	稍硬
鄖家屯	套毛	六・八	三五〇	〇・〇四八	五・五	同
林西	套毛	一一・九	四四五	〇・〇四七	五・五	同
豐州	套毛	一〇・一	四四五	〇・〇四一	五・三	同
包字	套毛	九・八	四六〇	〇・〇四二	六・七	同



産地	種類	粗脂肪	色澤
辛寒羊	毛	一一・九	四三〇
濠洲下等雜種	羊毛	一〇・六	三四〇
南米雜種	羊毛	一二・六	五八七
クニージ	チランド	二四・九	五四〇
蘇蘭土	カーベット	一二・三	五四〇
濠洲一等ビーセスメリイ		一四・一	六六〇
西寧	套毛	一五・八	白色にして光澤に乏し黄褐色の纖維を混ず
西路	套毛	一八・一	白色にして光澤に乏し淡黄色の粗毛を混ず
庫倫	套毛	二八・五	白色にして光澤あり毛端黄色を呈す
肅州	套毛	〇・八八	淡黄色にして光澤に乏し
錦州	套毛	一八・八	同右
鄖家屯	套毛	二・一二	白色にして光澤に乏し淡黄色の粗毛を混ず
林西	套毛	二・二一	白色にして光澤に乏し黄色及黒色の粗毛を混ず
豐州	套毛	一・一三	淡黄色にして光澤あり
包字	套毛	二・八七	同右
辛集	寒羊毛	一・四一	白色にして光澤あれども毛端褐色の部分あり
濠洲下等雜種	羊毛	一・八六	淡黄色にして光澤あり

南米雜種羊毛	粗脂肪	色	澤
ニユー・ジラング	二、五二	同右	
クランツ	三、九三	淡黄色にして光澤に富む	
蘇蘭土カーベットウール	一、六一	淡黄色にして光澤に乏し	
濠洲一等ビーセスメリイ	三、九二	白色にして光澤あり	

一、羊毛は甚だ吸水性に富みて常に水分を含有し加熱すれば乾燥するを以て減量すれど此の乾燥毛を大氣中に曝す時は漸時再び吸水して初めの含水量に復歸するが常である。従つて乾燥時は一二%の水分を含むものも濕潤せる天候には二〇乃至三〇%を含有することあり、而して羊毛の種類に依りて吸水量は相違す。支那の奸商は羊毛の此の特性を悪用して賣買に際し重量を増加するため時に故意に過分の水分を含ますことあり。羊毛の含水量はそれが賣買上竝に毛織工業上に極めて重要な關係を有するものである。

滿支の代表的羊毛に對する含水量試験の結果は次の通り
(溫度攝氏二〇・四度、濕度七二・五%の室内試験に依る)

西寧	一一、一二%	西路	套毛	九、二一
庫倫	一〇、三〇	肅州	套毛	一〇、四一
錦州	八、八九	洮南	套毛	一〇、七五

鄭家屯套毛	一二、四四	林西套毛	一一、〇一
豐字	九、九六	包字	一〇、一四
辛集寒羊毛	一〇、九六	濠洲下等雜種羊毛	一二、一〇
南米雜種羊毛	七、三九	ニユー・ジラングクラツチング	一三、二五
蘇蘭土カーベットウール	一二、七九	濠洲メリノウール	一一、六五

斯の如く羊毛の水分は各種類に依りて一定せざるを以て賣買に當りて往々紛議を醸すことあり。されば氣候溫度を斟酌して夫々一定の公認水量を定め取引の圓滑を期する次第である。

滿支羊毛の日本に於ける公認水分は普通一六%である。

一、粗毛及死毛

粗毛即ちヘヤーの多少は羊毛の品質に重大なる關係を有す。凡羊毛は氣候風土、牧羊管理の如何によりて絨毛即ちウールも粗毛に變化するものである。絨毛と粗毛とは科學的には此の兩者を區別し難く組織は全く同一にして唯粗毛は捲縮が無く又鱗全體が纖維の表面に密着して居て絨毛の如く鱗の尖端の一部が纖維より離れて外側に向ひピラ／＼せるに比し異なるのみで種類と言ふよりも寧ろ程度の相違である。故に實際に於ては或る種の粗毛は絨毛に又或る種の絨毛は粗毛に近似して見分が困難である。滿支の如く牧羊管理粗放にして寒氣酷烈なる處にては粗毛を多く生ずるは止むを得ざる次第である。蒙古地帯産の羊毛は粗毛を含有すること特に多く三〇%乃至五〇%を越ゆるもの

あり少きも十五%乃至二五%内外を算す。寒羊毛の如きは比較的暖地に産し管理も稍行届くを以て之と事情を異にし粗毛は少く四%位であることも首肯せらるゝ處である。然れども之等粗毛の少き羊毛は全數量から見れば僅少のものであるから滿支羊毛全體より見れば所詮粗毛の含有量多くして濠洲南米産の雜種羊毛さへ粗毛を含有せざるに比し其の品質に影響するところ至大なるものがある。

良種の羊には死毛は長毛から短毛に移る頭部、脚部等の限定されたる一部分に因つて僅に之を見るのであるが、滿支の如き氣候寒冷飼料は豊富ならず管理粗放の地方にては死毛が全體に散在し或る部分は殆ど死毛のみを以て覆はるゝ個所さへある。東部及北部蒙古に産するものには特に死毛多く粗毛の場合に記すと大體同一の傾向あり、寒羊毛に至りては稀に存在するのみである。

死毛は Kemp と稱せられ鱗は存在せず不透明にして白色を呈し、弾力性無く脆弱にして捲縮無く且つ最も困ることは吸収性を有せぬ爲め染色不可能にして毛織物に仕揚げたる際此の死毛のみは着色されずして残り外觀を甚しく損するため毛織物業者は最も之を嫌忌するのである。

一、夾雜物

滿支羊毛の品質に就ては以上の通りにて大體之を盡したるも羊毛の品質を考慮するに當り特に重要なるは夾雜物の點である。羊毛は羊體にある間に既に糞尿に汚れ土砂、塵埃等を混入し殊に剪毛季

竝に之が市場に出廻る季節には所謂蒙古風の吹く頃にて烈風は砂塵を巻き上ぐることに連日にわたり刈り取つた羊毛も更に土砂を混入せらるゝのである。斯くの如く自然に附着する夾雜物は已むを得ざるも支那奸商は利を計るに急なるため重量を増加する目的を以て荷造の際故意に混入することあり其の方法は數十年來の經驗と研究により極めて巧妙である。例へば白色の羊毛には白砂、黄色には黄砂を混入し一見識別を困難ならしめ或は羊毛に水を注ぎ土砂を散布し之を羊毛に固着せしめて其の混入の多からざる如く装ひ篩にかけるも容易に落ちざるものあり、或は土砂を繕り込める繩を包装に用ひ斤量を増加するが如き列擧に遑なく錦州の如きは天津に移出する羊毛の荷作を爲す場合必ず二割以上の砂を更に混入するを以て習慣とせる如き、只一時を糊塗して斤量を瞞着すれば足れりとなし其のため羊毛の品質を害するが如きは素より介意する所でない。土砂の混入程度は品物に依り異なり對成貨、四六貨、三七貨と云ふ。即ち夾雜物五割、四割、三割を含む羊毛の意である。之に依りて羊毛鑑定如何に困難なるかを知るべく如何なる經驗努力に依るも斤量の誤差を免るゝことを得ないのである。

第五節 滿支羊毛の鑑定

滿支羊毛の品質に付ては科學的に研究せられたるものなく隨つて其の取引に際しては永年の經驗に基づき單に視覺、觸覺に訴へ品質の決定をなすのみである。其の場合標準となるべき事項は各用途によ

り一定せぬが大體

- 一、纖維の細粗
 - 一、纖維の長短
 - 一、纖維の硬軟
 - 一、彈力の有無
 - 一、捲縮性の多少
 - 一、強力の多少
 - 一、色の澤
 - 一、死毛
 - 一、夾雜物、脂肪、色毛水分
 - 一、套毛の多少
- 有るものを可とす
多きを可とす
最も重要な點にして病疾等のため纖維の一部に脆弱なる處あるは不良
雪白にして光澤あるを可とす黄色の浸潤深きものは不可
少きを可とす
少きを可とす
套毛多ければ選毛上に利あり可とす

右の諸項に従ひ小様子(見本)俵に就きて慎重に鑑定をなしたる上取引せらる。

套毛大片兒の場合は小様子を改装し繩狀なるは之を解き土篩して歩留り色毛の割合を驗し觸覺、視覺により品質を鑑定す。抓毛は小見本の各俵より數個を取り出し一々解きて頭路貨と二路貨に分ち又撒抓毛、秋毛等は小様子を全部解裝し套毛の場合と同様に依り品質の鑑定をなす。

斯くの如き鑑定に依れば必ずしも取引が安全であると言ふことは出來ぬ。何となれば觸覺、視覺なるものは絶對的のものでなく鑑定人の其時時の氣分に依り一定せず且つ支那商の羊毛に對する奸策は前述の如く計るべからざるものあり、而も羊毛は賣渡先の工場に於て洗上げられたる歩留を輸出商が

保證する慣習あり。即ち需要者は羊毛を水洗の上脂肪、夾雜物を除去し乾燥せる純毛量により賣渡し而も之が買付に際しては日本の外は解裝することなく土砂の混入せる包裝の儘賣買が行はるゝものなれば毛質必ずしも見本と一致せず且つ包装中に混入せる土砂の分量如何、土砂を篩ひ落したる汚毛の水洗歩留に對する見込等、他の商品が單に品質の鑑定、或は銘柄のみに依りて賣買せらるゝに比すれば二三重の危険を負擔するため其の取扱は簡單に行はるべきに非ず、相當の經驗を積みしものと雖も尙時に過失あるは免れず此の鑑定は極めて慎重を要するものである。

第六節 滿支羊毛の缺點

滿支に於ける羊毛の産地は前述の如く廣域に亘りて各地の牧羊上の諸要件は夫々甚しく相違し隨つて品質も亦甚しく變化してゐる。凡そ滿支羊毛が輸出品として取扱はるゝことゝなりて以來既に數十年の歴史を有するに拘らず其の缺點は改めらるゝ處なく羊種改良の唱へられざるに非ざるも未だ實績の見るべきものはない。殊に過去數年間國內の動亂打ち續きては之が改良の餘裕も無く永年に亘りて築かれし取引組織も一時破壊せられ其の出廻も阻碍さるゝに至りし有様にて退歩せし觀ありしも、漸く近年に至りて取引組織も恢復し荷動を相當見るに至りし模様なるも奥地未だ疲弊のため牧羊業績の發展は尙覺束ない。茲に滿支羊毛の缺點を列舉せば

- 一、ソーチング缺如及格付の不備

滿支羊毛は品質に依り分類せらるゝことなく細粗、強弱、長短一定せず又死毛が其の間に錯雜混交して品質一定せず自己の欲する品質を求むること能はずして自然不要の部分も購入しなければならぬといふ不便がある。輸出に際しては支那商の羊毛分類方法に基き各々思ひ思ひに羊毛を分類し而も各口毎に千差萬別にて標準となる格付なく賣買に際し一々見本に依り契約し受渡は手觸、肉眼鑑定に俟つ外なきを以て紛争を惹起すること多く取引上及使用上の不便は至大である。

一、輸出數量の不定

羊毛の産額に年々豊凶のあるは免れ難いが滿支に於ては更に政狀の不安運送機關の亂脈等の爲に近年羊毛の出廻は實に不定にして輸出額に増減あり製造計畫等も立てられず此の點より見て工業原料としての滿支羊毛の價值を減殺することは少くない。

一、歩留の不定

滿支羊毛には夾雜物が多く品質を損傷するは言ふ迄もないが賣買に際し洗滌後の歩留を賣方が保證する商習慣のため若し洗上の歩留が不足の場合は買手よりの *Claim* を受けねばならぬため至大の危険を負ふのである。此の歩留の鑑定は全く經驗に俟つ外なく然し之は如何程經驗を積むも正確を期するは至難である。

一、粗毛及死毛の多き事

粗毛及死毛多く且つ強力無く纖維が不揃なることは著しく滿支羊毛の用途を少くするものである。要するに滿支羊毛は質粗惡なるを以て其の製品は觸感荒さを缺點とし死毛の混するため織物の外觀を甚しく損する嫌がある。而し或る種の羅紗は死毛が染色せずして残る特性を利用して模様を表現する工夫をなし有效なる結果を齎し却つて珍重せらるゝ場合もあると。

次の如き厚地毛織物及其の類似品は滿支羊毛を原料として用ひらる。

スコッチ、ホームズバン、毛布(赤毛布、軍用毛布)、緞通

第七章 世界羊毛産額と滿支羊毛

世界羊毛生産額は約三十七億餘萬封度と稱せられ之を大別すれば

北	米	四五五、五九一	千封度
中	米	六、六〇〇	
南	米	五一五、一〇九	
亞細亞		三〇〇、八五一	
大洋洲		一、一二七、〇〇〇	

歐洲	九四一、六五二
亞弗利加	四三〇、六一五
計	三、七七七、四一八

滿支羊毛生産額は約八千萬封度と稱せらるゝを以て世界總産額に對しては二・一%餘を占むるに過ぎず、而も羊の飼養管理は幼稚なるを以て近き將來に於ける産額の著増は期待すること覺束なきも羊毛産地としては全然未開拓の地方なるを以て今後牧畜方法が改良され羊種の改良徹底した曉其の廣莫たる牧畜地帯は亞細亞の他の地方と共に世界羊毛供給地として重きを爲すに至るであらう。殊に歐洲大戰迄は年産額は丁度世界の消費を充足せしも殊に近年需要激増して供給に對し均衝を失つて來た現狀では羊の頭數を増加する餘地は僅少にて一頭當りの收毛量の増加を計るか又は滿支の如き未開拓の羊毛産地に期待する外ない有様であつて此の點に於て滿支羊毛の重要性を認められる。

第八章 滿支羊毛と米國

米國のカーベット工業の旺盛なるは實に世界第一である。新興成金國だけに家屋の新築に伴ひ丁度日本の疊の必要なると同様に敷物を要する譯にて米國のカーベット工業は斯る必要と當局の助成策とにより急激なる發達をなして居る。而してカーベット原料に供せらるゝ羊毛は粗羊毛にして主として山岳地帯又は氣候寒冷なる地方竝に原始的に牧羊して羊種の改良行はれざる文化の程度低き地方産の

ものにて、此の條件に適する地方に産する羊毛として滿支羊毛は需要されるのである。カーベットツールの世界年産額は三億八千萬封度内外にして世界全羊毛年産額の約一〇%に相當し其の約二〇%強即ち八千萬封度は滿支羊毛である。米國の年々カーベットツールの輸入額は一億二千萬乃至一億五千萬封度にして滿支羊毛は嘗ては其の五割を占めたることあるも其の後減少して四割となり二割強となりし有様である。之は種々の原因に依るも滿支羊毛の供給量の不安定が米國のカーベット工業に脅威を與へしとも見ることが出来る。

米國政府はカーベット工業の保護に勉め其の原料に供せらるゝ羊毛の輸入に就ては政府は特別の便を計り輸入の日より規定の年月以内にカーベット製造に供せられたる時は免税する等の規定を設けしも、製品たるカーベットの輸入に對しては約六割の從價輸入税を課する由にて滿支羊毛相場が割高なる點は實に米國の斯くの如き保護政策に起因する事至大であらう。

第九章 本邦毛織物工業

方今我國に於ける毛織物の需要は逐年著しき増加振にて羊毛工業の發展は實に目覺しく隨つて其の原料たる羊毛の需要は年々漸増し内地羊毛消費高は脂付にて

大正九年消費高	約 九一、五〇〇、〇〇〇封度	一人當り	約 一、八三封度
---------	----------------	------	----------

之を見るに八年間に於て約六割の増加を示してゐる。尙其後年々増加の一途を辿りつゝあるも尙之を世界の羊毛消費に比すれば本邦の消費高は二・五%内外に過ぎない。

毛織工業は其初め政府が民營指導の意味を以て先づ千住製絨所を設立せしを以て嚆矢とし、之が民間一般的となりしは日清戦役後から日露戦役を経て後其の發展著しくなり、歐洲大戰の爲輸入品の減少に刺戟を受け目覺しき發展を示すに至りしも戦後又々輸入品の壓迫を受けて不振を呈し整理緊縮せられ關稅の改正を行ひつゝ沈滞状態を辿りしが、大正十五年四月毛織物、毛糸等の關稅改正ありて稍好況に向ひ暫時は一進一退の有様なりしも昭和三年に入りてより漸次順調に進み輸入羅紗類は柄物、縞物等を除き需要の増加に反して輸入の減少を示せしを見れば當業者の努力も察することが出来る。其後化學的研究と技術の進歩と相俟つて柄物縞物の優秀品も生産し得る域迄に達し來り、又之等當業諸會社は大量生産に力を注ぎ輸入の防遏に勉むると共に輸出の途を拓き従つて原料羊毛の輸入は著増し半製品及毛織物の一部輸入は減少の傾向を示してゐる。本邦製品中には輸入毛織物と比較して決して遜色なき品を製するに至り而して之等の品は其の價格歐米品に比して割安なるため海外市場に相當迎へられつゝあつて、當天津に於ても從來上海を経由せる英國製羅紗洋服地を取扱ひし外商及支那商も密に本邦製品に手を付けつゝある状態である。

第一節 本邦と滿支羊毛

我國の緬羊總頭數は一九三一年に於て約三萬頭其の羊毛産額脂付にて約二十萬五千封度と稱せられ年々増加せるも到底我毛織工業の原料とするに足らず殆ど全部を海外に仰ぐ有様にて、一九二七年羊毛輸入額七千四百四十三萬斤價額九千十四萬圓にして大正十五年の關稅改正に依り羊毛輸入數量は著増し爾後年々増加し一九三一年には一億八千萬封度を超えてゐる。滿支羊毛の本邦へ輸入最も旺盛なりしは大戦中にして當時は英國の羊毛管制のため濠洲羊毛の輸入減と加ふるに露西亞を初め其他の諸國より軍絨の注文を受けたる等の結果滿支羊毛の需要は著しく誘起され當時は本邦商人獨占の觀を呈したのである。而して滿支羊毛に付經驗なく事情に通ぜぬ邦商は品質等の如何を顧みず亂暴なる買付をなせしも而も相當なる利益を收めたのであるが、戦後平和克復後例の恐慌と共に手持滿支品は品質劣等にして到底他品に及ばず相場暴落に會して顧るもの無く倉庫に山積せられて惡印象を留めたのである。

滿支羊毛は大正八年以來服地に使用することを得るやうになりてより其の消費量は増加せしも滿支羊毛のみにては良品を製し難く既述の如き缺點あるを以て其の使用は好まれざる傾向にある。然れども過般大戰中に經驗せし如く濠洲、其他の羊毛の禁止的輸出制限に再會せば直に本邦の毛織工業は致命的の大打撃を蒙り毛織物の大不足に苦しむこと想像に餘あるを以て、斯業をして完全なる發達を遂

げしめんには常に原料毛の自由供給を講ずることが正に先決問題にして識者間に於ては思を爰に致し、今や世界的産物として重視せらるゝに至りし滿支羊毛を以て此の使命を全ふせんとするに意見一致し、著々研究しつゝあるを見る。實際本邦將來の原料毛供給問題は全く滿支を措いては他に解決を求め難い状態にあつて今尙昔日の如き幼稚なる牧羊法に依つて生産されている滿支羊毛其他の獸毛は良く研究せられて必要適切なる改良を加へらるゝなれば實に前途は未知數にて何處迄進歩を見るや測り難く、此の際一日も速に本邦識者斯業の經驗者が思を將來に致し不斷の努力を以て數十年を期して成果を望む覺悟にて研究と指導に任じ以て滿支兩國を經濟的に富ましむると共に我が必要を實現満足する様努むることが緊要である。

天津羊毛日本向輸出高累年比較表

年 度	數	價	年 度	數	價
1916	Piculs 69,275	H. K. Tls. 2,268,756	1926	Piculs 9,886	H. K. Tls 326,238
1917	101,961	3,352,477	1927	36,230	1,268,050
1918	138,857	4,651,710	1928	42,702	1,409,166
1919	80,199	2,686,666	1929	35,201	880,025
1920	32,227	1,085,151	1930	27,276	681,900

年 度	數	價	年 度	數	價
1921	60,285	1,507,125	1931	187	5,741
1922	33,692	859,147	1932	unknown	unknown
1923	36,509	1,077,016	1933	856	\$ 51,205
1924	22,884	686,520			
1925	43,241	1,329,661			

H. K. Tls. 100.00 = about L. \$ 156.00

前掲羊毛輸出高累年國別表及天津港より日本向輸出累年比較表に見る如く一九三〇年頃よりの減少は著しきものである。其の原因としては過去三ヶ年間々々突發せし天津附近其の他の騷擾事件に禍されしと今一つは相場著しく下落せしとに依るものゝ如し。

一九三二年度の總輸出額三萬四千擔は實は一八八三年以來の激減振にて大抵年々二十萬乃至四十萬擔の積出を見一九三一年迄の十ヶ年平均積出高は三十六萬擔であるが、羊毛大輸出港たる天津に Stock されし額は十萬擔に達し皆貨棧倉庫に或は銀行に質入せられ市場の有利に向ふことを期待しつゝあつたが、彼等賣手の苦痛なる問題は全體四十兩臺にて仕入れたるものが二十三兩に迄下落せしためにて天津に限らず上海にても多くの Stock 尙停滞し四川の羊毛の如きも重慶を動かぬ有様にて、一九三二年初三十三兩なりしものが年末二十三兩に下落せしは要するに高値期待して賣り控へ滞貨を見たるに依ると云はれてゐる。

斯くて支那海關當局は一九三二年に於て羊毛輸出額減少により六百四十萬海關兩即ち約一千萬弗の稅收減を蒙りしと稱してゐる。而して一九三三年下季に入りてより相場も安い儘に落付きを見せ、前年に比し稍荷動を見るに至り、本年に入りては一月より五月迄の天津港よりの積出額次表の如くである。

天津港より輸出高

1934 Jan./May

	Piculs	\$
Great Britain	23	1,218
Germany	2,310	100,700
Netherlands	2,822	115,354
France	33	2,454
Japan	1,148	86,200
U. S. A.	134,964	7,152,553
Belgium	341	23,129
Italy	23	1,368
Total	141,664	7,482,976

第十章 輸出に對する施設

輸出商が買付けたる羊毛は之を輸出するに當り運送の便、運賃の關係及途中の減量等を考慮し壓搾

梱包して其の容積を縮少して堅固なる荷造をなす必要がある。天津に於ける有力なる外商は大抵其の設備を有してゐる。而して滿支羊毛は前述の如く夥しき土砂塵埃等の夾雜物を含むを以て荷造をするに先立ち之を除去することは運賃諸掛の節約、又外國市場に於ける販賣を容易ならしむる點からも業者の重要視する處である。扱て其の方法としては手で羊毛を丁寧に篩ひ夾雜物を除去する方法と去塵機によるものと又更に之を水洗して完全に夾雜物を除くものとあり。之等は夫々長短ありて得失を詳細にすることは至難であるが大體次の如くである。

去塵機に依り去塵する時は羊毛の纖維に無理を生じ殊に長い纖維は打毛に際し切斷せられ毛足が短くなること等の損傷を受け品質を害するを以て毛足が短くて機械にかくも切斷のため特に品質を毀損する虞なきものゝみに用ひらる。尙去塵機に依る時はフリースが分解せられて各部が混交し選毛困難なるを以て需要者が選毛することなく其儘原料として使用する撤抓毛の如き場合にのみ去塵機を用ふるのである。

故に去塵機に依る場合は

- 一、選毛せず其の儘原料として使用する場合
- 一、最初からフリースなく毛足の短さものに限る

右の外は多く苦力をして羊毛を手で篩はせ又は六、七分目の金網を張りたる土篩を以て砂塵を除去すると共に黒毛、死毛をも選別せしむるのである。

手篩の料金は普通選毛竝に手篩賃共込めて苦力に請負はしむるのである。若し西寧羊毛原俵（普通百五十斤）を大洋五角にて請負はしめるとせば篩ひ上り百斤當りの料金は原俵篩ひ上り八〇%留りとする時

原俵一俵百五十斤	五角
白斤に付	三角三分三
篩ひ上り百斤に對し	0.2323
	80
	四角一分六

而して機械に依り去塵するものは同業者相互の利益を確保するため料金を協定し以前は 0.30 現在は 0.45 （精選正味一擔に付）見當である。

次に羊毛洗滌をなす利害得失であるが滿支羊毛を水洗して輸出せば其の缺點とする夥しき夾雜物も除去せられて輸送費を節減するのみならず歩留も一定して取引を容易ならしめ白色となりて外觀もよくなるため賣買が成立し易しと見らるゝ向もあるが其のため羊毛の品質及取引上に不利を齎すことも尠くないのである。洗滌しないものは生體にありし間に附著せし脂肪が纖維を保護するために輸送や

保管中に蒙る微其の他の損傷は割合少いのである。

尙洗滌の方法及取扱ひに缺陷あるため羊毛の持てる大切な性質を破壊せらるゝことが尠くない。即ち水洗、乾燥に用ふる温度の高すぎ或は過度に洗滌する時は變色して艶と柔軟性を失ひ質を脆くして耐久性を失ひ鱗を傷つくるため紡績上に必要なる羊毛の特性を失ふに至る。又用水が硬質なる時は不溶解性にして粘質強き石灰又は苦土石鹼を生じて纖維に膠著するため染色をなせし際は染残りの部分に斑點を生ずる恐れがある。又洗毛の場合最も普通によく起る缺點は洗上後の處理不充分なため纖維が搦み付き固形することである。是等の事情に鑑み滿支羊毛輸出に際し洗滌する可否如何は極めて重大なる問題である。本来洗滌方法及其の程度は需要國に於ける買手の要求に叶ふべきものにて必要以上に洗滌の要無く、と言つて必要程度に及ばぬ時は再洗滌の要を生じ斯くては天津に於て輸出前に洗滌することは無意義となる。而して米國に於ける滿支羊毛の需要者は其の製品に夫々適合する洗滌方法や設備を有するを以て洗滌済のものを注文する必要を認めぬ由である。現に當地より米國に輸出せらるゝ羊毛の中洗滌済のものは全體の一〇%に充たずして九〇%以上は土篩をなし去塵したる脂付の羊毛である。日本向も亦之と同様である。

斯くて土篩をなし夾雜物を除去せられたる羊毛は梱包工場に於て看貫し之を水壓機の羊毛受箱に投し六百封度内外を一箇として壓搾し之を麻布に包み帶鐵をかくるのである。梱包の形狀は使用の機械

に依り異り大體左記の如くである。

重量	六〇〇封度	二・八呎	二・四呎	一・八呎	一二・一才
重量	六〇三々	三・一々	一・八々	一・七々	九・五々
々	五三〇々	三・四々	一・八々	一・七々	一〇・四々

大體一梱包の重量は六百封度即ち四擔にして風袋は十五乃至二十封度を上下す。

梱包工場は梱包せる羊毛に對する正味量及風袋を記載した Weight memo を荷主に發行し荷主は之によりて税關手續をなすこととしてゐる。

第一節 輸出諸掛

扱て愈々輸出に際し要する諸掛を天津港輸出羊毛に付いて見れば次の如くである。

輸出税	從價 五% (百キログラム海關公定價格)
輸出附加税	本税の一〇%
修河税	一二% (百キログラムに付海關公定額)
架橋税	二% (同 右)
碼頭税	二% (同 右)
運賃	日本向噸當り金九圓 (約四俵にて一噸) 外に附加チャージ噸當り八錢五分
保險料	契約高の〇・二%
商品検査料	百キログラムに付
苦力費	ソーチング其他

領事送狀料金

北米向の場合等

電信料

買付より爲替取組迄の金利

其他

從來輸出税は脂付、洗上總て 100 kgs. に付 \$ 5.20 の從量税を課せられしも民國二十三年六月二十一日より從價税 5% と改訂せられたのである。而して課税羊毛標準價格は天津海關にて次の如く決定せられてゐる。

Customs Average Value of Exports:

Wool Sheeps Hand Shaken	\$ 64.00	per 100 kgs.
(Lamb) Machine Cleaned	\$ 132.00	
Washed or Machine Cleaned	\$ 100.00	
舊 per 100 kgs.	\$ 5.20	
新 Handshaken (\$64.00 × 5%)	\$ 3.20	
	\$ 2.00	

今此處に新舊稅率を比較すれば

即ち百キログラムに付輸出税は二弗低下したことになる。

今前掲諸掛を送狀の形式に示せば次の通りである。

Invoice of 40 Bales Hsining Sheep's Wool
 shipped per S/S.....from Tientsin to Kobe
 by order and for account and risk of Messrs.....

40 B/S Hsining Sheep's Wool (Hand shaken)		
10,000 Kgs. @ 60.479 Kgs. per picul, 165.35piculs.		
@ ¥ 78.62 per picul ¥. 13,000.00 @ L \$ 90.		\$ 11,700.00
CHARGES:		
Packing Charges, @ \$ 1.50 per Picul	≈	248.03
Export Duty, 5% of Value \$ 6,400.00 (@\$64.00per 100Kgs.)	≈	320.00
Sur Tax, 10% of Export Duty,	≈	32.00
River Due, 12% of \$91.00 (@ \$ 0.91 per 100 Kgs.)	≈	10.92
Bridge Tax, 2% of \$ 91.00(≈)	≈	1.82
Wharfage, 2% of \$ 91.00(≈)	≈	1.82
Freight to Kobe for 10 tons(about 4B/S per ton)		
@ ¥ 9.00 per ton, ¥ 90.00 @ \$ 90.00	≈	81.00
Sur charges, = \$ 0.85 per ton	≈	8.50
Marine Insurance for ¥ 15,000.00,(0.2%)¥30.00 @ \$ 90.00	≈	27.00
Coolies Hire	≈	170.00
Inspection Fee, @ \$ 0.165 per 100 Kgs.	≈	16.50
		<u>\$ 12,617.59</u>

尙右 Charges の内 Sur charges は白河を Lighter にて太沽迄運送太沽にて本船に積込む費用である。

Inspection Fee は輸出品検査局にて Certificate の發行を受くる料金にて必要なるものなれど其の検査たるや實に形式的のものにして結局支那自國の收入を計る目的に他ならない。

第十一章 結 語

要するに滿支の牧羊は古き歴史を有すると雖も何等羊種の改良行はれし事無く、牧羊方法も粗放にして品質も劣等に屬し産額とても多しとは言ひ難い。而して日露戰役後羊毛の改良に付相當試驗的には成績を挙げたれども之が一般普及の點に至りては少しも効果の見るべきもの無く甚だ香しからぬ現狀にあれども之を以て直に將來を顧みぬとせば甚だ早計と言ふべきではなからうか。元々滿支人の牧羊に對する主たる目的は肉を食し皮を被ることにて羊毛の採取では無かつた爲め羊毛改良の點に就ては無關心であつたのである。東北より西南に渉る内外蒙古青海、甘肅、新疆と數千里に及ぶ大高原は寒氣烈しけれども降雪期と雨期とは連續せず、空氣は概ね乾燥し地質は砂及壤土にて荆棘の地は無く、狼は居れども其の他は他の羊毛産出國に見る如き猛獸とても棲息せず牧羊に不適の地なりとなる理由は認められないのである。

されば改良羊種を普及せんとするには先づ最初に土人の牧羊方法、牧羊採算、經濟的生活狀態等總べての事情を完全に根本的に詳細に究め之に適合する様指導と援助とを與へなければ實績を擧ぐることは六ヶ敷いではあるまいか。然れども之は短日月を以て其の成果を望むは早計にして數十年の長き歲月を覺悟して以て將來の大成を期すべきは他の羊毛產出國の羊毛改良歴史を見ても明白である。況や文化の程度低き滿支人に於ては尙更である。現に品質優良の稱ある濠洲の羊種は其の初め南阿及英國のメリノを輸入せしに初り之等は滿支羊種とは異り羊種としては良好のものであつたが、其の採毛とても最初から現在の如き優良のものではなく長き歲月に互り不斷の改良に努めた結果である。滿支に於ても漸次優良羊種が徹底的に普及した曉には現在の頭數である四千萬頭にても一億五千萬斤以上の產毛を見ることが得世界の檜舞臺に打つて出ることが出来るであらう。

されば隣邦に於ける牧羊の將來に大なる期待を爲し羊種改良、優良羊毛の生産に努力と指導援助を惜しまず、以て友邦滿支をして富度を高めしむると同時に我の必要を滿し唇齒輔車の實を上ぐると共に我羊毛政策の確立を計るべきであらう。

次に滿支羊毛の價值を著しく傷くる點即ち夾雜物多くて歩留り不足なること、一定の格付といふもの無きため必要なる品質の羊毛を求むるに至難なること、輸出數量に著しき増減があり工業家に不安を與へる等より見て夫々用途に合致する格付を造ること、斯道の經驗ある有識者を検査人とし羊毛の

検査をする鑑定機關を設けて嚴重なる検査を行ひ其の検査済のものには賣買上に有效な検査證を發行すること、滿支羊毛が主として外人の手を経て多量に歐米に輸出せらるゝを見れば本邦毛織工業界は未尙滿支羊毛を使ひこなす迄に其の研究と工業技術が進歩して居ないと言ひ得るを以て大いに之が使用法を研究すべきで又米國にて盛なるカーペット工業の如きも研究を試みらるべきものと思ふ。

(終り)

終